



本 庄

ロータリークラブ会報

No. 46-30 第2229回 例会 2月5日 2009年2月19日 発行
 2008～2009年度 国際ロータリー 会長 李 東建 第2570地区 ガバナー 真下和男
 会長 高柳育行 会長エレクト 田中 克 副会長 下山正男 幹事 茂木 聡

《本日の例会》

卓 話

「加藤玄静ガバナーエレクト 帰国報告」

進 行 五十嵐 敦子 SAA
 点 鐘 午後12時30分 高柳育行 会長
 国 歌 「君が代」
 ロータリーソング「奉仕の理想」

会長挨拶・報告

高柳 育行 会長

皆様、こんにちは。
 今週は節分、そして立春と暦のうえでは春の気の立つ日を迎えたわけです。立春という響きには、無条件の希望があるように思います。長い冬の後に、必ず春は訪れる。だから早く来ないかなと、そんな気持ちになります。本日も例会にご出席いただきありがとうございます。
 それでは本日の来訪者をご紹介します。ロータリー米山奨学生 于 潔さんです。ようこそいらっしゃいました。
 先週の夜間例会では多くの会員にご出席いただきありがとうございます。また藤井会員には大変お世話になりました。1月31日には地区の職業奉仕研修会があり、橋本委員長さんにご出席いただきました。ありがとうございました。後ほど報告をいただきたいと思っております。また出欠席報告をいただいておりますIMですが、今週末の土曜日、午後1時30分より、当ホテルにおいて開催されます。ご多用のことと思いますが、ご出席よろしくお願ひ申し上げます。また欠席と返事をいただいた方でも、出席できるようになった方は是非ご出席いただきたいと思っております。
 本日理事会がありましたのでご報告いたします。協議いただいた事項の事業が途中ということもあり、一つだけ報告させていただきます。小此木会員が12月13日に入院をされ、現在リハビリ中で引き続き入院をされているということです。規定によりましてロータリークラブからお見舞いをさしあげることにしました。
 ところで今週の本は新潮新書から出版されている、五木寛之さんの「人間の覚悟」です。「そろそろ覚悟をきめなければならない」とはじまります。そして「諦める」というのは「明らかに究める」ことだそうで、はっきりと現実を見せることだと書いてあります。どんな覚悟をしたらよいのか本の中で紹介されていますが、私も覚悟をきめなければならないかと思っております。本の中で中国の四季を表す青春・朱夏・白秋・玄冬という言葉があります。玄冬の「玄」とは暗くて黒い中にかすかな赤みがさして、そこからまた新しいものが始まる、いわばブラックホールみたいなものだそうです。この玄なる世界に入った人間は、青春や、朱夏の人たちは理論も発想も行動も違うのではないかと書かれています。玄人と書いて「くろうと」、しろうとに対する言葉であります。この「玄」は、加藤ガバナーエレクトのお名前の一文字であります。
 加藤ガバナーエレクトがアメリカでの国際協議会を終えて、どのようになって帰国されたか、会員一同大変興味を持っているところであります。その後も精力的に行動されている加藤ガバナーエレクトに後ほど報告をしていただきたいと思っております。新しいものが始まるという期待をしておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。
 以上で会長挨拶と致します。

来訪者紹介

- ・ロータリー米山奨学生 于 潔さん
- ・名誉会員 古瀬末雄 様

幹事報告

茂木 聡 幹事

来訪者

ロータリー米山奨学生 于 潔さん

地区行事

国際ロータリー第2570地区第4グループ I・M

2009年2月7日(土) PM1:30～6:30 埼玉グランドホテル本庄 於

回覧資料

1. 地区大会記念チャリティゴルフコンペ開催のご案内
2. 前埼玉県知事故土屋義彦氏を偲ぶ会の案内
3. 国際ロータリーとロータリー財団の2007～08年度年次報告
4. ROTARY WORLD
5. 学友会ニュース(第124号)

以上、回覧致しますのでご覧下さい。

地区報告

職業奉仕委員会 橋本 恒男 委員長

*1/31 開催された地区職業奉仕研修会、並びに中間報告について。

委員会報告

親睦活動委員会 金井 直樹 委員

*2月の会員誕生祝、結婚祝

「誕生」スピーチ

渋谷修身、金井福則
 境野三郎、竹並紀松
 茂木 聡、松原幹男



「結婚」スピーチ

井下 典、田中 克
 小此木昭二、関根 貢
 境野三郎、萩原達夫



＊米山奨学生へ2月の「奨学金」贈呈

米山カウンセラー 坂本 優 蔵

「米山奨学生 卓話」

皆様、こんにちは。米山奨学生の 于 潔
です。



先ほど、次年度のガバナー加藤様から
ロータリークラブの次年度のマークをいた
だきました。早速つけさせていただきました。
このマークをつけるのは私は日本で第1号だと聞いておりますので、
とても光栄だと思います。これから社会人になっても一生このマークを
大事にして、ロータリー精神を心の中に刻みたいと思います。加藤様
ありがとうございます。

また、先月の例会で自分の修士論文の研究について皆様にお話し
しましたが、現在は研究の一環として、ネットシンポジウム「日中の環境
協力のありかたについて」を開催しております。

今週の月曜日に日本企業の関係者として、真下建設株式会社の
真下社長が基調発表をしてくださりました。会社の環境に配慮した経
営活動のほか、産学官地域連携活動に関しても詳しく紹介してい
ただいて、大変勉強になりました。

私の論文の最終審査は来週の火曜日になりますが、今回の実証実
験は非常に重要なので、皆様のご協力を心から感謝しております。
真下社長、坂本カウンセラー、茂木幹事、本当にありがとうございました。

以上、ご静聴ありがとうございました。

例会プログラム

卓話 「加藤玄静ガバナーエレクト 帰国報告」



1/17～27 国際協議会（サンディエゴ）へ
参加、世界から540名のガバナー・令夫人・
RI役員総勢約1,500名の本会議への出席者
が有り、欠席・居眠りする人も殆どなく、緊張
感のある会議を10回、グループ会議を14回
開催した。

13時間のフライトは大変で、しみじみファース
トクラス・ビジネスクラスとの違い、お金の価値を理解できた。エコノ
ミーでの差額金が、皆様へのお土産、財団への寄付（¥75,000）による
ネクタイ・スカーフのお土産になった。

日本の34名のガバナーの職業は、医師・歯科医師8名、神主・
住職3名、弁護士・公認会計士3名、学校関係3名、企業経営者
17名でした。

最近では韓国のみがクラブ数・会員が増加、米・英・日が減少、
インドも一時世界2位になりましたが、不況の影響で3位に後退、日本
が2位に帰ってきた。

次年度のRI会長ジョン・ケリー（スコットランド）のテーマは、「ロータ
リーの未来はあなたの手の手に」です。それを受け、次年度①クラブ
支援（55クラブ）②職業奉仕（職業倫理）企業の基盤の確立 ③地域
のためになる運動（合同事業も可）を推進します。

食事は殆どエスニックであり閉口しましたが、中村会員にご親戚の寿
司屋さんを紹介され、同期ガバナーと一緒に行き大変喜ばれ、人脈
の大切さを感じました。

会議の前に約15分間の歌を歌い、野村会員の顔を思い出した。

最後に、財団にビル・ゲイツが1億ドル寄付をした事により、いつの
間にか、今まで1クラブ1000ドルが2000ドルへと決定してしまった事
が悔やまれます。

いろいろご支援頂き、有難う御座いました。

ニコニコBOX

井 下 典 SAA

- ・無事国際協議会より帰国致しました。
今後大変お世話になります。 加藤玄静
- ・ガバナー研修会を終えられてお目出度うございます。
ひと回り大きくなったガバナーを期待します。 古瀬末雄
- ・加藤ガバナーエレクト様おつかれさまでした。
次年度へのご指導よろしくお願い致します。 今泉憲治
- ・D・E・G おかえりなさい。 関口礼子
- ・藤井会員のおかげで盛会に楽しい例会ができました。
高柳育行
- ・先月の夜間例会ありがとうございました。 藤井 仁
- ・保健所にて会議がありますので早退させていただきます。
飯塚明男・野澤章夫
- ・早退します。 中村 孝
- ・加藤玄静ガバナーエレクトお疲れ様でした。
帰国報告をお願いします。

佐藤賀則・萩原達夫・野村正行・下山正男
橋本恒男・春山茂之・田中 克・茂木 正
坂本雄一・矢島淳一・内野昭八郎・竹並栄一郎
高柳育行・武井包光・三宅健吉・岡崎正六
横尾 巧・高橋福八・狩野輝昭・梅村孝雄
黒岩三雄・渋谷修身・中島高夫・浅香 匡
金井直樹・石原 修・杉山淑子・関根 貢
五十嵐敦子・茂木 聡・石原輝弥・坂本優蔵
井下 典・戸谷清一

＊出席報告

出席委員会 井河 彰久 委員

会員数	出席免除 会員数	出席義務 会員数	出席会員数	出席率
65名	6名	59名	47名	80%

＊次回プログラム

2月12日（木）振替休会（2/7 PM1:30～第4グループI・M）

2月19日（木）PM12:30～第2例会

「卓話」茂木 正 国際奉仕委員長、井河彰久 会員

＊点 鐘

高柳 育行 会長

■ 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30
■ 事務所 埼玉グランドホテル本庄700号
〒367-0041 本庄市駅南2-2-1
TEL0495-22-7522 FAX0495-22-3571

■ 例会場 埼玉グランドホテル本庄
Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
ホームページ
<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>